

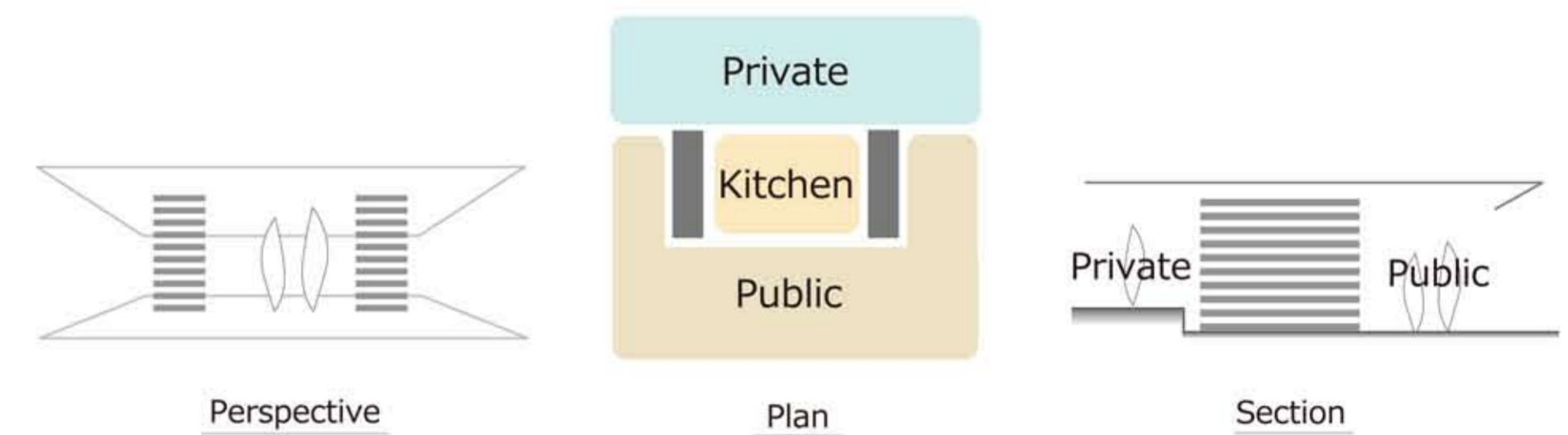
要壁 (かなめかべ) のある家

南斜面に建つ、陽、風、緑、眺望を備えたマンションを、暮らしに合わせて組み直した計画です。無機質な四角い箱としてのワンルームではなく、暮らしに寄り添うワンルームの在り方を模索しました。

要壁による視線の奥行感とその先の期待感、壁に心地よく囲われた場、パブリックとプライベートの中間域をつくる縁側のある二つの床レベル。隔てながらも繋げる衝立壁など、広がりや繋がりを基本としながら時に閉じる、二つの要壁により生まれた場を持つワンルーム空間を目指しました。

要壁の内部には冷蔵庫やレンジを内蔵し、もう一方は収納式の書庫として暮らしの機能を盛り込みました。また要壁は家具端材のウォールナットを再利用し丁寧に造りこみました。

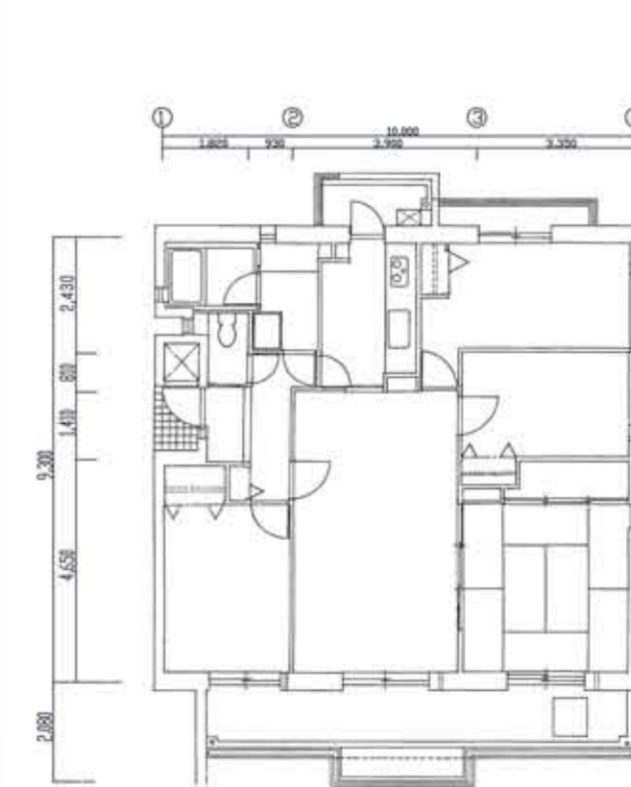
暮らしの中心に据えたステンレスのキッチン、ウォールナットの要壁、羊毛の絨毯、コンクリートの土間、プリミティブな素材の質感と表情を読み取りながら、それぞれを活かすバランスで組み上げました。



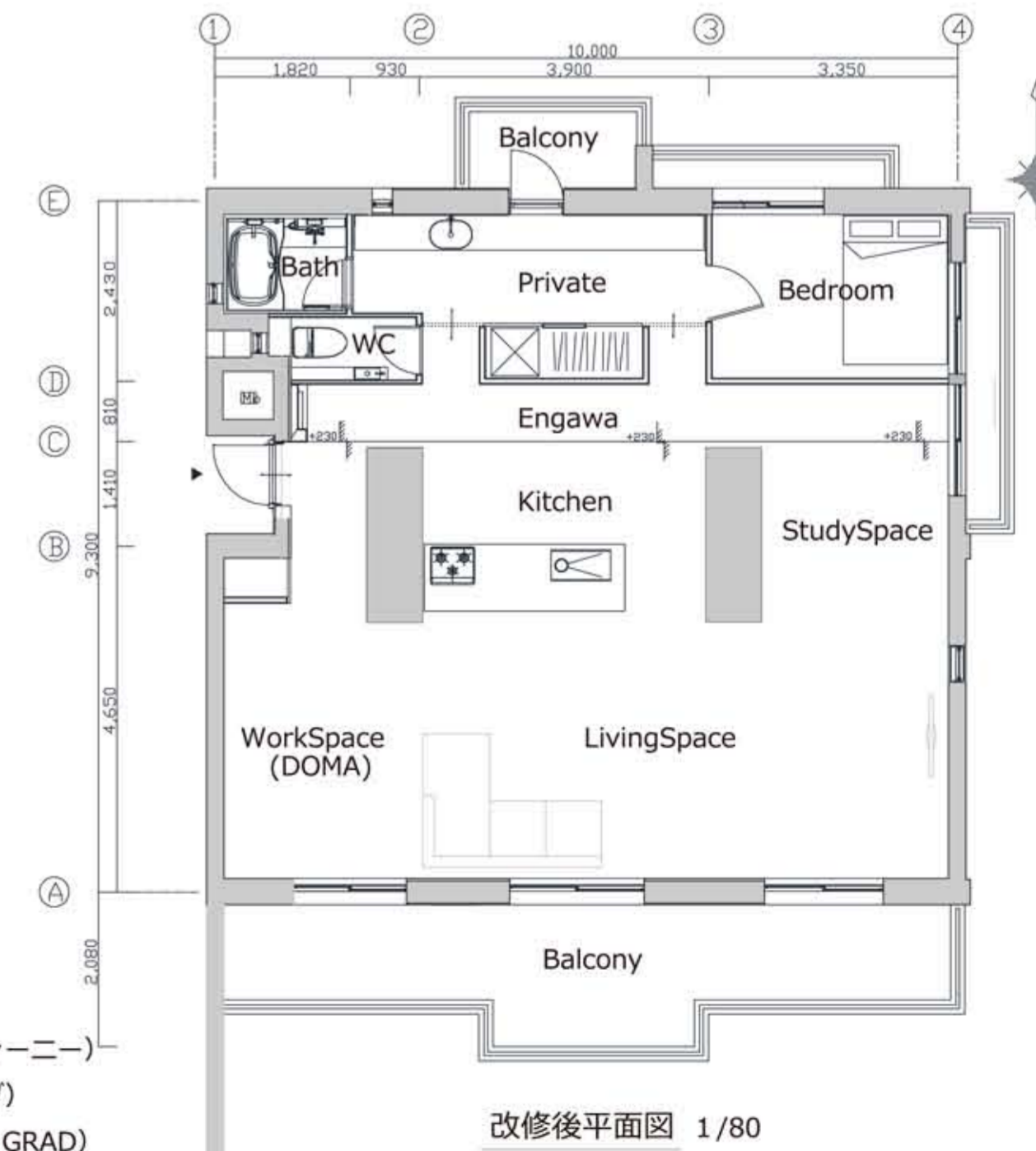
二つの“要壁”によって整形な天井を支え上げ、かつ床と天井を繋ぎます。

二つの“要壁”によって生じた空間が緩やかに繋がりながら目的を持つ場となります。

二つの床レベル、椅子座と床座によって多様な暮らしの場を作り出します。



改修前平面図 1/160



改修後平面図 1/80

- インテリアエレメント
- 要壁：家具端材のウォールナット
- 床：ロールカーペット (東リ クラフトジャーニー)
- 壁・天井：クロス貼り (サンゲツ リザーブ)
- キッチン：ステンレス (サンワカンパニー GRAD)
- 建具：シナ合板塗装仕上げ
- 照明：DAIKO スモールグレアレス DL
- 概算金額 1,400万円



ワンルームにおける様々な場を生み出す二つの要壁



天井を支える象徴としての二つの要壁

パブリックとプライベートを繋げる中間域としての縁側

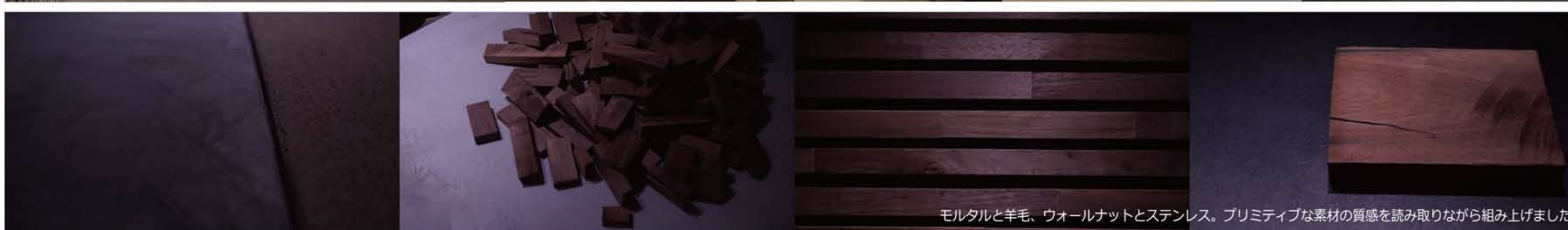


緩やかに繋がりながらも視線の廻りをもつ勉強スペース

縁側とキッチンの間も会話の場として機能します

書庫としての機能を持たせた要壁

寝室と水廻りを集約したプライベートエリア



モルタルと羊毛、ウォールナットとステンレス。プリミティブな素材の質感を読み取りながら組み上げました。